

販売好調につき、良席僅少。 全席指定 5,000円

チケットのお求めは

タッシ・アーツ・チケッツ！

TEL 050-1278-6816 (10:00~18:00)

*下欄「4/13 プレ・レクチャー」のお申し込みもこちらのダイヤルです。

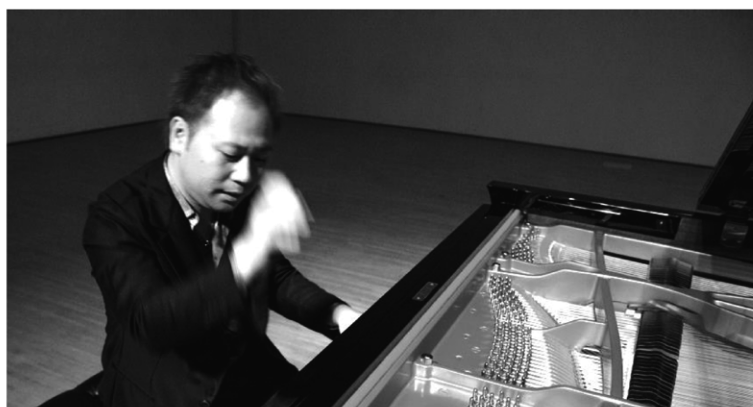
*本公演ではライブ・レコーディングを行います。

(ワンドリンク付き)

柑橘系のフレーバーと
春を思わせる
爽やかなフレッシュ感が嬉しい
ドイツ産白ワイン
“ベートーヴェン Nr.9”ほか、
ハイドン、モーツァルト、
ベートーヴェンが愛した
飲み物が、貴方の喉を潤します。



ハイドンで芽吹き、
モーツァルトで花開いたソナタの形式は
ベートーヴェンにおいて、ついにドラマティックに咲き誇る…



松本和将 ピアノ

高校在学中に「ホロヴィッツ国際ピアノコンクール」第3位。
1998年19歳で「第67回日本音楽コンクール」優勝。
併せて増沢賞はじめ、全賞を受賞。
2001年「ブゾーニ国際ピアノコンクール(イタリア)」第4位。
2003年、世界三大コンクールの一つ「エリーザベト王妃
国際音楽コンクール(ベルギー)」第5位入賞。
プラハ交響楽団、プラハフィル、ベルギー国立オーケストラ、
読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京交響楽団、
東京フィルなどと共演。指揮者小林研一郎、飯森範親、
広上淳一他、室内楽では、前橋汀子(Vn)、宮本文昭(Ob)、
趙静(Vc)、漆原啓子(Vn)、渡辺玲子(Vn)、中嶋彰子(Sop)
との共演が好評を博す。

ベートーヴェンは、第12番のピアノソナタで
ソナタ形式を使わずに作曲した。——
物の本を紐解けば、
だいたいこんなことが書いてあります。

それでは、なぜベートーヴェンはそうしたのでしょか？
しかし、答えはどの本を開いても載っていないのです。
けれども、私たちはその後の作品の変遷を見れば
おのずと分かるのです。

気まぐれではない。
一風変わったことがしたかったわけでもない。
ベートーヴェンは、どうしても
ソナタ形式を一度破壊する必要があったのです。

今回スタートする新シリーズの第1回では
ソナタが黎明期を経て
ベートーヴェンによって一度壊され、
さらに発展し自由になり
凄まじいまでに巨大化していくまでの
音楽の姿を追っていきます。
今回はその途中、“壊される”ところまで。

ベートーヴェンがいかにして
誰にも作れなかった世界を作り出したのか、
ぜひ、ご期待ください。

松本和将

早春のイタリア街で、ランチの前には、プレ・レクチャー

《ベートーヴェンは、なぜ破壊したのか!?》

ソナタ形式をなくしただけではない。

ベートーヴェンが作り出した新しい形式の本当の姿とは？

出演：松本和将(ピアノ&トーク)

2016年4月13日(水) 10:45開演
(10:30開場)
(12:00終演予定)

汐留イタリア街

ベヒシュタイン・サロン

港区東新橋2-18-2グラディート汐留1F

最寄駅 都営大江戸線「汐留駅」8番出口より徒歩4分

“若き巨匠”松本和将が、本公演のプログラムの重要ポイントを
試演&トークで紐解きます。楽曲を深く理解できることはもちろん
表現と一体の演奏テクニックも披露。
プレ・レクチャーで本公演が、もっと深く豊かに楽しめます。

全席自由 (定員限定/事前申込要/当日券なし)

3,000円 プレ・レクチャーのみの方

1,000円 5/18公演チケットをご購入の方

座席数に限りがあります。

上欄の「タッシ・アーツ・チケッツ！」に
お電話で、今すぐお申し込みください。